

平成26年度（公財）日本バレーボール協会公認 B級・C級公認審判員資格認定審査会

9人制筆記試験問題

平成26年7月5日（土）
平成26年7月6日（日）実施

【注意】 解答用紙はすべて指定された解答欄に記入してください。

問1 次の文章の取り扱いが正しいものには○、誤っているものには×を書いてください。

- ① 監督が選手を兼ねているときは、コート内にいる間も監督の権利を行使することができる。
- ② 主審は、試合前の準備として、両チームのチームキャプテンを呼び、じゃんけんでトスをして、トスに勝ったチームキャプテンに「サービスを打つか、サービスをレシーブする権利」または「どちらのコートに入るか」のいずれかを選択させた。
- ③ 両チームの先発選手は、試合（セット）開始前、サービス順にエンドラインに整列する。
- ④ 第2（第3）セットは、前セットの最後のサーバーの、相手チームの次の順にある選手のサービスで開始する。
- ⑤ 第2セットを終えて、セットカウントが1対1になり第3セットに入るため、第2セット終了後トスを行い、トスに勝ったチームキャプテンにサービス権またはコートのいずれかを選択させた。
- ⑥ 最終（第3）セットでは、いずれかのチームが1点を先取したときにコートを交替し、直ちに試合を再開する。
- ⑦ セット間の中止時間は、2分間とする。この間、選手はコートから離れ、ベンチ近くにいなければならぬ。ただし、他の試合の妨げとならない限り、エンドライン後方のフリーゾーンで、ボールを使用してウォームアップをすることができる。
- ⑧ 選手交代は、それぞれのセットの試合開始前においても要求することができる。この場合、そのセットの正規の選手交代としては記録されない。
- ⑨ 選手交代は、1セットに3回、3人を限度として同じ中断中に、複数を、または連続して要求することができる。
- ⑩ チームは、試合開始時間を15分経過しても、公式記録用紙に記載された選手のうちの9人が競技場にいないときには、その試合は没収となる。
- ⑪ サービスは、主審のサービス許可の吹笛後、8秒以内に行わなければならない。サービスは、一度失敗しても、もう一度だけ行うことができる。
- ⑫ 同一チームの2人以上の選手が同時にボールに触れたときは、そのチームのボールへの接触回数は2回とみなす。
- ⑬ ブロックした選手は、そのボールを続けてプレーすることができる。この場合のボールへの接触回数は2回となる。
- ⑭ 選手がプレーしたボールがネットにかかった場合でも、同一選手が続けて3回プレーしたときは、ドリブルの反則となる。
- ⑮ 他の選手や競技場内の物体で身体を支えたり、これをを利用してボールをプレーしたときは、物体利用のプレーの反則となる。
- ⑯ インプレー中、選手がアンテナに触れたときは、ボールアウトの反則となる。ただし、ボールをプレーする一連の動作中でないときに触れても相手チームの選手のプレーを妨害しない限り反則としない。
- ⑰ アンテナの上方もしくはその外側にボールの一部でもかかったり、これを完全に通過したときは、その時点でボールアウトとなる。
- ⑱ 両チームの選手が同時に反則をしたときは、ダブルファウルであり、不法な行為による場合を除き、ノーカウントとする。試合は同じサーバーの第1サービスで再開する。

平成26年度（公財）日本バレーボール協会公認 B級・C級公認審判員資格認定審査会
9人制筆記試験解答用紙

所属			氏名				
----	--	--	----	--	--	--	--

問1（各2点）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱

問2（各2点）

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)

問3（各3点）

①	②	③	④	⑤
m	m	m	m	m

問4（各3点）

①	②	③

問5（各2点）

①	②	③
④	⑤	⑥

